

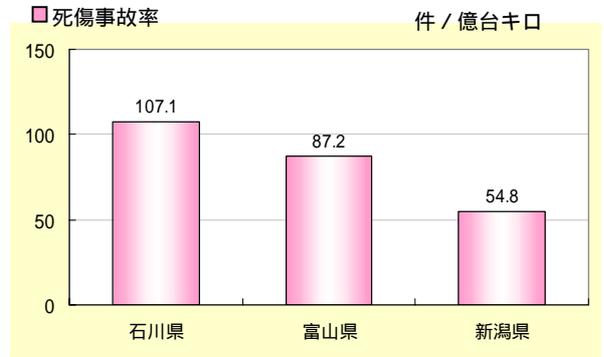
### 指標 3

## 死傷事故発生率

### 現状と課題

#### 死傷事故発生率の高い石川

石川県は、死傷事故発生率が石川・富山・新潟の3県の中で最も高い。

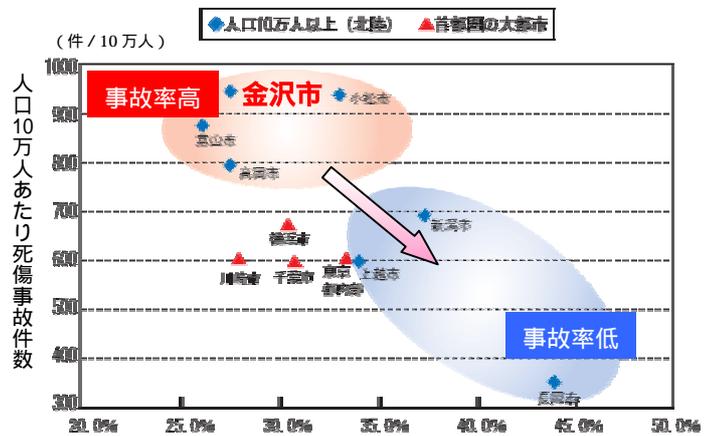


直轄国道のデータ

#### 特に死傷事故が多い金沢市

規格の高い直轄国道の整備が進んでいる新潟市や長岡市等では、人口当たりの死傷事故件数が低い。

一方、規格の高い直轄国道等の整備が遅れている金沢では、人口当たり（人口10万人当たり）の死傷事故件数は高い状況にあり、規格の高い道路の整備が求められる。



直轄国道以上の道路を利用する割合 出典：北陸地方整備局調べ (H13年1月～12月の直轄国道のデータ)

#### 県内の交通事故危険箇所

死傷事故の発生率の高い交差点や道路は県内に22カ所ある。

市町村名	路線名	箇所名	市町村名	路線名	箇所名
加賀市	国道8号	熊坂町	金沢市	(一)別所野町線	野田町交差点
金沢市	国道8号	千木交差点		(一)金沢停車場南線	元車交差点(H14整備済み)
		南新保交差点		(一)金沢停車場北線	金沢東警察署前交差点
	国道157号	むさし交差点	松任市	国道8号	乾町交差点
		有松交差点			徳丸北交差点
	国道159号	東山1丁目3	鶴来町	(一)八日市松任停車場線	倉光東交差点
		鳴和交差点			松任駅前交差点
		(主)金沢湯涌福光線	広坂交差点	鹿島町	国道157号
	(主)金沢美川小松線	増泉交差点	鹿島町	国道159号	天狗橋詰交差点
(一)八田金沢線	乙丸町～浅野本町	徳前交差点			
					ラピア鹿島交差点

事故危険箇所；10年に1度以上の確率で死亡事故が発生するおそれの高い箇所及び幹線道路の平均事故率（65件/億台キロ）が5倍以上の事故率がある箇所

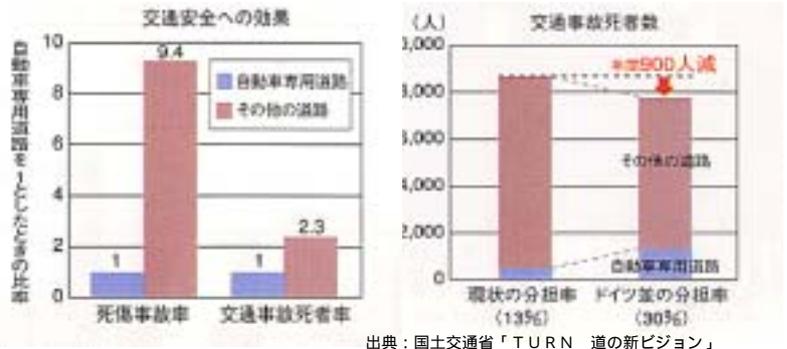
本表は、H8～H11年データを元に抽出された箇所であり、その後の改良等により改善された箇所も含む

## 取組みの方向性

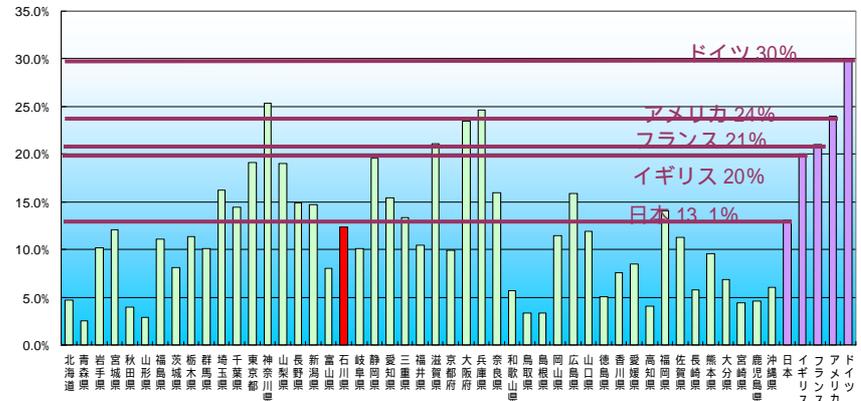
ダブルラダー路線等の幹線道路ネットワークの整備により、規格の高い道路を利用する割合を向上させ、現道も含めた死傷事故の低減を図ります。

地域の交通の2~3割を占める長距離トリップにおいて、事故率が低く走行速度の高い「規格の高い道路」が利用されることで、幹線道路・生活道路など本来の役割に見合った機能分化が図られ、事故率の軽減等が期待できます。

石川県における規格の高い道路を利用する割合は12.4%で、全国値(13.1%)より低く、さらに欧米の平均値20~30%に比べて、大幅に低い値となっており、県内における規格の高い道路の整備が求められています。

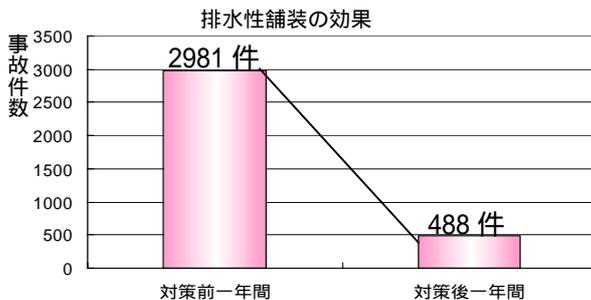


規格の高い道路を利用する割合



局所的な事故危険箇所における交差点の改良や道路照明などの重点的な安全対策を行います。

高速道路等における排水性舗装など、事故低減に効果のある工法を採用します。



平成元年から平成12年までに排水性舗装で施工した箇所のうち、路面湿潤時の事故が多い箇所における施工前後の1年間の事故件数を調査した結果、施工前2981件発生していたものが、施工後1年間では488件に減少しました。

対策実施前1年間の総事故件数が全国平均の2倍(6件/km)以上で、湿潤時の事故が総事故件数の50%以上の箇所

資料：日本道路公団

## 取組みの成果指標

交通事故の低減を示す指標として、死傷事故件数と自動車走行台キロあたりの死傷事故発生件数の削減数を採用します。

$$\text{死傷事故発生率} = \frac{\text{死傷事故件数(件/年)}}{\text{自動車走行台キロ}}$$

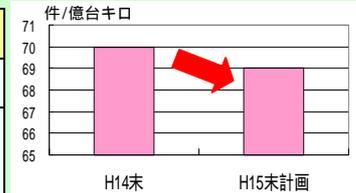
\* 対象道路：高速道路、国道、県道（死傷事故件数も、県道以上の年間の件数）

\* 自動車走行台キロ = 走行台数 × 走行距離（1億台キロあたりに換算）

## 死傷事故の軽減に向けた平成 15 年度の成果目標

死傷事故発生率を H14 年末の約 70 件 / 億台キロから、H15 年末には約 69 件 / 億台キロへ減少させることを目指します。

項目	H14 年末	H15 年末計画	減
死傷事故発生率	約 70 件 / 億台キロ	約 69 件 / 億台キロ	- 1 件 / 億台キロ
死傷事故件数	約 4,766 件	約 4,720 件	約 50 件 (約 1% 減少)



### H15 年度に供用を予定している主な箇所

路線名	区間	延長	整備内容
国道 159 号津幡バイパス	内日角 ~ 舟橋	4.7km	規格の高い道路の整備 (バイパス整備)
(主)七塚宇ノ気線	白尾 ~ 内日角	0.9km	規格の高い道路の整備 (拡幅整備)
国道 8 号 6 車線化	南新保交差点	-	事故危険箇所対策 (交差点改良)
(一)近岡諸江線			

### 規格の高い道路を利用する割合

規格の高い道路を約 8 km 整備し、規格の高い道路を利用する割合を、H14 年度末の 12.4% から、H15 年度末には 12.9% へ向上させることを目指します。

項目	H14 末	H15 末計画	増
規格の高い道路 を利用する割合	12.4%	12.9%	0.5%
規格の高い道路 の延長	172.5km	180.2km	7.7km

規格の高い道路を利用する割合

$$= \frac{\text{(規格の高い道路の年度内の走行台キロ)}}{\text{(全道路の年度内の走行台キロ)}}$$

また、規格の高い道路とは、自動車専用道路や平面交差・歩道がなく沿道からのアクセスが制限された道路のこと

H15 年に供用予定の規格の高い道路

国道 159 号津幡バイパス 4.7km

(主)七塚宇ノ気線 0.9km

国道 8 号金沢東部環状道路 2.1km

